



## 第3回JGAルールテスト

### 練習問題 C

テスト時間：60分

100問四者択一方式(4つの選択肢から正解を一つだけ選択する)

#### 注意事項

- ① 別途記述がなければ、設問はストロークプレーとする。
- ② 別途記述がなければ、設問はローカルルールが制定されていないものとする。
- ③ 別途記述がなければ、規則の重大な違反は生じていないものとする。
- ④ 正解は最新の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」に基づく。
- ⑤ 各設問の正解は一つのみ。
- ⑥ 個人で使用する目的以外で複製、頒布、二次使用は禁止する。

この練習問題 C は本テストの約一か月前からテスト受験者に、オンライン練習問題として提供される内容と同様である。

各設問の正解を一つ選んでください。

1. プレーヤーが事実問題を決定する必要がある場合、その事実に関して自分が知っている事実だけではなく、合理的に入手できるすべての他の情報についても検討する責任があると規定している規則はどれか。
  - ① 1.3
  - ② 3.1
  - ③ 20.1
  - ④ 20.2
  
2. コース上ではない区域はアウトオブバウンズであると規定している規則はどれか。
  - ① 2.1
  - ② 2.2
  - ③ 18.1
  - ④ 18.2
  
3. コンシードされた球を拾い上げることができる人を規定している規則はどれか。
  - ① 3.2
  - ② 3.3
  - ③ 9.4
  - ④ 9.5
  
4. 不適合球で暫定球をストロークしたがその暫定球がインプレーにならなかった場合に罰はないことを規定する規則はどれか。
  - ① 4.2
  - ② 4.3
  - ③ 6.3
  - ④ 18.3

5. パッティンググリーン上で球を転がしたり表面をこすことは「コース上で練習をすること」と、規定している規則はどれか。
- ① 5.2
  - ② 5.5
  - ③ 10.2
  - ④ 13.1
6. プレーヤーは、スタート時間にスタート地点でプレーをすぐに始めることができる状態だったが、その後忘れ物に気づきロッカーに取りに戻った場合に適用する罰を規定している規則はどれか。
- ① 1.2
  - ② 4.3
  - ③ 5.3
  - ④ 5.6
7. 球の搜索中に偶然に自分の球を踏んで地面にくい込んだ場合に適用する規則はどれか。
- ① 7.1
  - ② 7.4
  - ③ 9.4
  - ④ 16.3
8. プレーヤーがストロークを行う前に自分の体を保護するためにタオルをブッシュの上に置いた場合に適用する規則はどれか。
- ① 8.1
  - ② 8.2
  - ③ 10.1
  - ④ 10.2
9. マッチプレーでプレーヤーのジェネラルエリアにある球を、相手のキャディーが動かした場合に適用する規則はどれか。
- ① 9.1
  - ② 9.3
  - ③ 9.5
  - ④ 10.2

10. パッティンググリーンに対してキャディーにプレーの線を示してもらった場合の制限について規定している規則はどれか。

- ① 8.1
- ② 10.2
- ③ 10.3
- ④ 13.1

11. プレーヤーの動いている球の方向を動物が変えた場合に適用する規則はどれか。

- ① 11.1
- ② 11.2
- ③ 11.3
- ④ 11.4

12. バンカー内の球に対して、ストロークを行う前に砂に触れた結果罰を受けない場合を規定している規則はどれか。

- ① 12.1
- ② 12.2
- ③ 12.3
- ④ 12.4

13. 球がパッティンググリーン上にあり、プレーの線上にある別のプレーヤーによるスパイクマークを修理した場合に適用する規則はどれか。

- ① 8.1
- ② 8.2
- ③ 13.1
- ④ 13.2

14. 適用される規則に基づいて救済を受けるため球を間違った方法でドロップし、その誤りを訂正する時に救済の選択肢を変更できないことを規定している規則はどれか。

- ① 14.3
- ② 14.4
- ③ 14.5
- ④ 14.6

15. ルースインペディメントを取り除くとき他人の援助を受けることができると規定している規則はどれか。

- ① 15.1
- ② 15.2
- ③ 16.1
- ④ 16.2

16. バンカー内の球をプレーする前にルースインペディメントを取り除く場合、どの規則に基づき取り除くことができるか。

- ① 12.1
- ② 13.1
- ③ 15.1
- ④ 16.3

17. 2人のプレーヤーの球が同じペナルティーエリアにある場合、プレーの順番は元の球があった箇所に基づくことを規定している規則はどれか。

- ① 6.1
- ② 6.4
- ③ 17.1
- ④ 17.2

18. 元の球があると推定する場所よりホールに近い箇所から暫定球をプレーした場合について規定している規則はどれか。

- ① 18.1
- ② 18.2
- ③ 18.3
- ④ 18.4

19. バンカーのアンプレヤブルの球に対する救済の選択肢を規定している規則はどれか。

- ① 19.1
- ② 19.2
- ③ 19.3
- ④ 19.4

20. 2 人のパートナーが 1 つのサイドとしてそれぞれの球をプレーする競技で、サイドのプレーの順番を規定する規則はどれか。

- ① 21.6
- ② 22.6
- ③ 23.6
- ④ 24.6

21. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① コースの境界線は地面の上方には及ぶが地面の下方には及ばない。
- ② 境界線にまたがっているものはそれ全体がアウトオブバウンズとなる。
- ③ 境界杭や境界線は白色としなければならない。
- ④ 委員会によって定められたコースの境界線の外側のすべての区域はアウトオブバウンズである。

22. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 自分の球からホールまでの距離を相手に教える。これはアドバイスに該当する。
- ② ホールの位置を教える。これはアドバイスに該当する。
- ③ 6 番ホールプレー中に、別のプレーヤーに 4 番ホール(同じくらいの長さのパー3)でその別のプレーヤーが使用したクラブの番手を尋ねる。これはアドバイスに該当する。
- ④ 似たようなストロークをすることになっていた別のプレーヤーの耳に入ることを意図して、クラブ選択に関する発言をする。これはアドバイスに該当する。

23. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 球が拾い上げられてからリプレーされた場合、そのボールマーカーを取り除くまでインプレーにならない。
- ② ホールのプレー中の球はホールアウトするまで常にインプレーである。
- ③ マッチプレーでティーイングエリアの外からストロークを行い、相手はそのストロークを取り消さなかった場合、その球はインプレーである。
- ④ 規則に基づいて元の球をインプレーに戻すことを要求されていたのに別の球に取り替えた場合、その球はインプレーにならない。

24. 次のうち、「ジェネラルエリア」に該当するものはいくつあるか。

- ・ティーイングエリア以外のコース上のすべてのティーイング場所
- ・目的外グリーン
- ・パッティンググリーン
- ・バンカー

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

25. 次のうち、「ストロークと距離」を採用していない規則はどれか。

- ① 規則 16
- ② 規則 17
- ③ 規則 18
- ④ 規則 19

26. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① プレー禁止区域は自動的に異常なコース状態とみなされる。
- ② プレー禁止区域は自動的にペナルティーエリアとみなされる。
- ③ プレー禁止区域は異常なコース状態か、ペナルティーエリアのいずれかの部分として定めなければならない。
- ④ プレー禁止区域がペナルティーエリアとして定められていた場合、そのプレー禁止区域の縁を越えて外側に伸びている生長物はプレー禁止区域の一部である。

27. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ホールは直径 4 インチでなければならない。
- ② ホールは直径 4.25 インチでなければならない。
- ③ ホールは直径 6 インチでなければならない。
- ④ ホールは直径 6.25 インチでなければならない。

28. 次のうち、「リプレース」の定義の空欄に入る文言はどれか。

「球を( )する意図を持って、球を設置させて手放すことによって置くこと。」

- ① インプレーに
- ② プレー
- ③ ストローク
- ④ プレース

29. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ジェネラルエリアに落ちている、一部が食べかけの果実はルースインペディメントではない。
- ② ヘビの死骸はルースインペディメントに該当する。
- ③ 自分のクラブに付着しているクモの巣はルースインペディメントではない。
- ④ 道路の舗装に使われている砂利はルースインペディメントではない。

30. 次のうち、「委員会」の定義の空欄に入る文言はどれか。

「競技または( )を管理する人、またはグループ。」

- ① 規則
- ② プレーヤー
- ③ コース
- ④ その競技の条件

31. 次のうち、地上にある場合に「一時的な水」として扱うことができるものはいくつあるか。

- ・唾
- ・雪
- ・人造の氷
- ・霜以外の自然の氷

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

32. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 改善とは、プレーヤーがストロークに対して潜在的な利益を得るためにそのストロークに影響を及ぼす状態、またはプレーに影響を及ぼす他の物理的な状態の 1 つまたは複数を変えることである。
- ② 改善とは、プレーヤーが次のプレーに対して潜在的な利益を得るためにそのプレーに影響を及ぼす状態の 1 つまたは複数を変えることである。
- ③ 改善とは、プレーヤーがストロークに対して潜在的な利益を得るためにそのストロークに影響を及ぼす状態の 1 つまたは複数を変えることである。
- ④ 改善とは、プレーヤーが潜在的な利益を得るためにそのストロークに影響を及ぼす状態の 1 つまたは複数を変えることである。

33. 次のうち、「外的影響」はいくつあるか。

- ・プレーヤーのパートナー
- ・動いている別の球
- ・送風機によって引き起こされた風
- ・相手

- ① 1 個
- ② 2 個
- ③ 3 個
- ④ 4 個

34. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 救済エリアの大きさを決定するためにクラブレンジスを使用する場合、溝を直接超えて計測することはできない。
- ② 救済エリアの大きさを決定するためにクラブレンジスを使用する場合、木の中を通して計測することはできない。
- ③ 救済エリアの大きさを決定するためにクラブレンジスを使用する場合、自然にうねった地面の中を通して計測することはできない。
- ④ 救済エリアの大きさを決定するためにクラブレンジスを使用する場合、壁の中を通して計測することはできない。

35. 次のうち、「重大な違反」の定義の空欄に入る文言はどれか。

「誤所からのプレーが正しい場所から行われるストロークと比較してプレーヤーに( )を与える可能性がある場合。」

- ① 潜在的な利益
- ② 有利な状況
- ③ 特別な利益
- ④ 著しい利益

36. 次のうち、「動かさない障害物」の定義の空欄に入る文言はどれか。

「( )努力なしには、またその障害物やコースを壊さずには動かすことができない。」

- ① 合理的な
- ② 不合理的な
- ③ 特別な
- ④ 実際のな

37. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ペナルティーエリアの色を委員会がマーキングしていなかった場合、イエローペナルティーエリアとして扱う。
- ② 委員会が水域の縁を定めていない場合、ペナルティーエリアの縁はその水域の水際で決定される。
- ③ ペナルティーエリアの縁の内側の人工物はそれが地面の上方にあってもそのペナルティーエリアの一部である。
- ④ 地上の水路に水が入ってない場合はペナルティーエリアとして定めることはできない。

38. 次のうち、「地面にくい込む」の定義の空欄に入る文言はどれか。

「・・・その球のピッチマークの中にあり、その球の一部が( )より下にある場合。」

- ① 地面
- ② 地表面
- ③ 地上面
- ④ 法面

39. 次のうち、「動物の穴」として扱えない物はどれか。

- ① 動物の穴に通じていない独立した動物の足跡
- ② 動物の穴から掘り出して分離している物
- ③ 動物の穴に通じるすり減った獣道
- ④ 動物が地下に穴を掘った結果盛り上がった地面

40. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① プレーヤー、またはそのキャディーが球を捜し始めてから 3 分以内に見つからない場合、その球は紛失したことになる。
- ② プレーヤー、またはそのキャディーが球を捜し始めてから 5 分以内に見つからない場合、その球は紛失したことになる。
- ③ 「球を紛失した」と宣言したとき、球は紛失したことになる。
- ④ プレーヤーが自分の球の捜索を始めてから暫定球をプレーするために直前のストロークをプレーした箇所に戻った場合、球の捜索時間は中断される。

41. プレーヤーがティーイングエリアでクラブを選択する時に、他のプレーヤーにペナルティーエリアの位置を聞いた後、さらにペナルティーエリアに関する規則を尋ねた。この場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 2 罰打
- ④ 4 罰打

42. バンカー内の球をプレーする前に練習スイングを 2 回行い、その 2 回ともクラブヘッドが砂に触れた。この場合の罰はどれか。

- ① 一般の罰
- ② 3 罰打
- ③ 4 罰打
- ④ 失格

43. プレーを再開するとき委員会が設定した時間より 2 分早くスタートした。この場合の罰はどれか。
- ① 1 罰打
  - ② 一般の罰
  - ③ 3 罰打
  - ④ 失格
44. プレーの中断中にジェネラルエリアで拾い上げていなかった球を動かしてしまった場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
  - ② 1 罰打
  - ③ 一般の罰
  - ④ 失格
45. プレーヤーの球はペナルティーエリアの中にあるサボテンの近くに止まった。プレーヤーはそのサボテンから身体を保護するためにサボテンにタオルを置いてストロークをした。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
  - ② 1 罰打
  - ③ 一般の罰
  - ④ 失格
46. 提出されたスコアカードのホールが実際のスコアよりも少ない場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
  - ② 1 罰打
  - ③ 一般の罰
  - ④ 失格
47. 規則を知らずにプレーヤー A はプレーヤー B に A のプレーの線上にあった木の枝を折るように要請し B はそれに従った。つまり A のプレーの線は改善された。この場合、B の罰はどれか。
- ① 1 罰打
  - ② 一般の罰
  - ③ 3 罰打
  - ④ 4 罰打

48. 風の吹いている方向を知るためにハンカチを空中でたなびかせた。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
  - ② 1 罰打
  - ③ 最初の違反で一般の罰、最初の違反に関連しない 2 回目の違反で 4 罰打
  - ④ 最初の違反で一般の罰、最初の違反に関連しない 2 回目の違反で失格
49. プレーヤーはパッティンググリーン上で球をリプレースした後、ボールマークを取り除かずにストロークをした。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
  - ② 1 罰打
  - ③ 一般の罰
  - ④ 3 罰打
50. プレーヤーはティーイングエリアからストロークを行う前に、そのティーイングエリアの水を取り除いた。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
  - ② 1 罰打
  - ③ 一般の罰
  - ④ 3 罰打
51. プレーヤーの球はパッティンググリーン上にあった。練習スイングをしている間に偶然に球を動かしてしまった。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
  - ② 1 罰打
  - ③ 一般の罰
  - ④ 3 罰打
52. プレーヤーは不適合クラブで暫定球をストロークした。元の球がみつきり、暫定球が放棄された場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
  - ② 1 罰打
  - ③ 一般の罰
  - ④ 失格

53. プレーヤーの球がバンカー内にあり、バンカー内のルースインペディメントを取り除いているときに球が動いた。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
  - ② 1 罰打
  - ③ 一般の罰
  - ④ 3 罰打
54. ストロークを行う準備中にクラブで球に故意に触れたが球は動かなかった。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
  - ② 1 罰打
  - ③ 一般の罰
  - ④ 失格
55. プレーヤーA は、パッティンググリーンを少し外れたところからプレーする前に、ホールの近くにあったプレーヤーB の球を球止めとして利用するために、そのまま残しておくようにプレーヤーB に依頼してプレーヤーB はそうした。この場合のプレーヤーB の罰はどれか。
- ① 罰なし
  - ② 1 罰打
  - ③ 一般の罰
  - ④ 失格
56. プレーの通常の中断中、キャディーにパッティンググリーンをテストさせた。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
  - ② 1 罰打
  - ③ 一般の罰
  - ④ 失格

57. 落雷のためプレーの即時中断の後、委員会は雷による危険がもはや存在しないと結論づけるためのすべての合理的な方法を用いた後でプレーの再開を指示した。プレーヤーが自分でまだ危険だと考えたことでプレーの再開を拒否した。この場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 失格

58. ティーイングエリアからストロークを行った球が跳ね返って、そのティーイングエリア内に止まった。その球を拾い上げ、再度ティーアップをして、ティーイングエリア内からプレーした。この場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 失格

59. 複数のプレーヤーがそのうちの 1 人を有利にするために違った順番でプレーすることに合意した場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 失格

60. プレーヤーの球がジェネラルエリアにあり、球のすぐ後ろにある砂を取り除いてストロークに影響を及ぼす状態を改善した。この場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 失格

61. プレーヤーの球がバンカー内にある場合、アンプレヤブルの救済の選択肢はいくつあるか。

- ① 2つ
- ② 3つ
- ③ 4つ
- ④ 5つ

62. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 球を拾い上げることができる人はプレーヤーだけである。
- ② 球をリプレースできるのはプレーヤーだけである。
- ③ 球をドロップすることができるのはプレーヤーだけである。
- ④ パッティンググリーン上の球はキャディーが常にリプレースできる。

63. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 事実問題を解決する方法で、事実が決定的でない一部の状況では、その疑念は球が関連するプレーヤーに不利に解決すべきである。
- ② ストロークプレーで、レフェリーは報告された規則違反にだけ対応する責任がある。
- ③ マッチプレーで特定の区域に割り当てられたレフェリーは、プレーヤーが速やかなプレーのペースの違反となるかもしれない場合、関与することができる。
- ④ レフェリーは規則違反をしそうになっているプレーヤーに警告する義務がある。

64. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ドロップした球が直接自分自身に偶然当たった場合、1 罰打を受ける。
- ② ドロップした球が置いてあったクラブに直接当たっても罰はない。
- ③ ドロップした球が地面に落ちた後に自分自身に偶然当たった場合、1 罰打を受ける。
- ④ ドロップして動いている球を故意に止めた場合、失格となる。

65. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 砂とバラバラの土はパッティンググリーン上にある場合に限り、ルースインペディメントとして扱われる。
- ② プレーヤーは、止まっている自分の球にクラブで故意に触れたが球が動かなかった場合、罰はない。
- ③ バンカー内の石を取り除く間に、バンカー内の砂に触れた場合、ストロークに影響を及ぼす状態に改善がなければ罰はない。
- ④ プレーヤーの球がバンカー内にある場合、危険な動物の状態による障害から罰なしの救済はない。

66. 動かせる障害物の上に球が止まった場合の罰なしの救済について、次のうち正しいものはどれか。

- ① 基点は完全な救済のニヤレストポイントである。
- ② 救済エリアはジェネラルエリアでなければならない。
- ③ 救済エリアのサイズは基点から1クラブレンジスである。
- ④ 球が止まっていた真下の地点にリプレースしなければならない。

67. プレーヤーがストロークを行う前に止まっていた球が動いた場合、その原因の可能性はいくつあるか。

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

68. 次のうち、規則で説明している「ゴルフゲーム」について正しいものはどれか。

- ① ゴルフは1つの球を1つのクラブで打つことによってコース上の18ホール(またはそれ以下)の1ラウンドをプレーする。
- ② ゴルフは1つの球を複数のクラブで打つことによってコース上の18ホール(またはそれ以下)の複数のラウンドをプレーする。
- ③ ゴルフは球をクラブで打つことによって18ホール(またはそれ以下)の1ラウンドをプレーする。
- ④ ゴルフは1つの球をクラブで打つことによってコース上の18ホール以下の1ラウンドをプレーする。

69. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ジェネラルエリアで、プレーヤーがレーキを取り除いている間に偶然に球が動いた。この場合 1 罰打で元の箇所に元の球か別の球をリプレースしなければならない。
- ② レフェリーの任務と権限がひとつのマッチのラウンド全体に割り当てられた場合、レフェリーは自分が目にしたり、報告されたすべての規則違反に対応する責任がある。
- ③ 止まっている球が元の箇所を離れ下方向に動いた場合、球は動いたことにはならない。
- ④ ジェネラルエリアに球があり、パッティンググリーン上にある一時的な水がプレーの線に介在している場合、プレーヤーは規則 16.1 に基づく救済を受けることができる。

70. 「球の一部が 2 つの特定のコースエリアにある場合、球は次の順番で最初となる特定のエリアにあるものとして扱う。」という規定の順番として正しいものはどれか。

- ① ペナルティーエリア、ジェネラルエリア、バンカー、パッティンググリーン
- ② ジェネラルエリア、パッティンググリーン、バンカー、ペナルティーエリア
- ③ ティーイングエリア、パッティンググリーン、バンカー、ペナルティーエリア
- ④ ペナルティーエリア、バンカー、パッティンググリーン

71. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ティーイングエリアの規則はプレーヤーがホールプレーをスタートする場合にだけ適用される。
- ② ティーマーカーが 1 つ、あるいは両方なくなっていることにプレーヤーが気づいた場合、そのプレーヤーは委員会に支援を求めるべきである。
- ③ マッチプレーでは、時間節約のために違った順番でプレーすることにプレーヤーたちが合意することはできない。
- ④ マッチプレーで間違った順番でプレーした場合、プレーヤーは一般の罰を受ける。

72. マッチプレーで正しいものはどれか。

- ① コンシードは言葉で伝えなければならない。
- ② コンシードは辞退できるが、撤回はできない。
- ③ キャディーのコンシードは無効である。
- ④ プレーヤーたちはマッチを短縮するためにホールをコンシードすることができる。

73. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① パッティンググリーン上のエアレーションホールの穴はボールマークと同様に修理できる損傷である。
- ② パッティンググリーン上ですでに拾い上げてからリプレースしていた球が風によって動いた場合、元の箇所にリプレースしなければならない。
- ③ 旗竿を取り除くときにホールが損傷した場合、プレーヤーはその損傷を修理することはできない。
- ④ プレーヤーはクラブを落としてしまい、それが当たってパッティンググリーン上の球を動かした。この場合、1 罰打で元の箇所にリプレースしなければならない。

74. 次のうち、暫定球の宣言と認められるのはどれか。

- ① 「もう 1 球打ちます。」
- ② 「念のため別の球をプレーします。」
- ③ 「打ち直します。」
- ④ 「規則 18.1 に基づいてプレーします。」

75. 次のうち、「アンカリング」に関して正しいものはどれか。

- ① 「前腕」とは肘関節より下の腕の部分であり、手首は含まない。
- ② 「アンカーポイント」が存在するためには以下の二つの要件がある。(1)プレーヤーが前腕を体に押し当てる。(2)プレーヤーは両手が離れた位置でそれぞれの手が独立して機能するようにそのクラブを握る。
- ③ 安定点を作らない場合でも、プレーヤーはストロークを行うときに片方あるいは両方の前腕を自分の体に押し当てることは認められない。
- ④ 服の一部にクラブやクラブを手が触れた状態でストロークを行うことはいかなる場合でも認められない。

76. プレーヤーが突然の病気や怪我に見舞われた場合に委員会が通常そのプレーヤーに認める回復時間として正しいものはどれか。

- ① 3 分
- ② 5 分
- ③ 10 分
- ④ 15 分

77. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ジェネラルエリアでプレーヤーはスイング区域の障害となる木の枝を折りストロークに影響を及ぼす状態を改善した。その後別の方向にプレーし改善したことが影響されない別の方法でプレーする場合プレーヤーは罰を免れることができる。
- ② プレーヤーの球が別のプレーヤーのプレーの障害となる可能性があるとしてプレーヤー自身が考えた場合、球を拾い上げることができる。
- ③ プレーヤーの球がジェネラルエリアの修理地の中で地面に食い込んでいた場合、修理地の救済を受けるか地面に食い込んだ球の救済を受けるか選ぶことができる。
- ④ ペナルティーエリアの中からプレーした球がアウトオブバウンズとなり救済を受ける場合、必ずペナルティーエリアの中に球をドロップしなければならない。

78. パッティンググリーン上の球に対する一時的な水からの罰なしの救済について、次のうち正しいものはどれか。

- ① 最大限の救済は適用できない。
- ② 救済エリアはパッティンググリーン上となる。
- ③ 球をリプレースする箇所がパッティンググリーン外となることもあり得る。
- ④ 一時的な水がプレーの線上にある場合のみ罰なしの救済を受けることができる。

79. 次のうちプレーヤーの行動がストロークとしてカウントされないものはどれか。

- ① ダウンスイングの途中でクラブヘッドがシャフトから外れ、そのプレーヤーはそのシャフトだけでダウンスイングを続けシャフトが球に当たった。
- ② ダウンスイングの途中でクラブヘッドがシャフトから外れ、そのプレーヤーはそのシャフトだけでダウンスイングを続けたところ、そのクラブヘッドが落下してその球に当たった。
- ③ ダウンスイングの途中でクラブヘッドが外的影響(木の枝など)によって方向を変えられたり、止められ球を打たなかった。
- ④ ダウンスイングの途中でプレーヤーのクラブヘッドがシャフトから外れた。そのプレーヤーは球に届く前にダウンスイングを止めたが、そのクラブヘッドが落下し、その球に当たって動かしただ。

80. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ストロークプレーのプレーオフで不適合クラブを使用した場合、その競技の失格となる。
- ② 2人のプレーヤーでストロークプレーのプレーオフを行う場合、一方のプレーヤーが他方のプレーヤーにプレーオフをコンシードすることが認められる。
- ③ ストロークプレーのプレーオフで、プレーオフを開始する前にクラブを取り替えることはできない。
- ④ ストロークプレーのプレーオフでは最初に規則違反をした方がプレーオフの負けとなる。

81. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① プレーヤーがドロップした球が、救済エリアの地面に落ちてから基点をマークしているティーに当たって救済エリアの中に止まった場合、再度ドロップしなければならない
- ② パッティンググリーンに対して、プレーの線を示すためにキャディーが物を置いたとしても、その物をストローク前に取り除けば罰はない。
- ③ プレーヤーは救済を受けるために自分の球に歩み寄ったが、偶然石を蹴飛ばしてそれが球に当たって球を動かした場合、罰はない。
- ④ バンカーの外側でアンプレヤブルの後方線上の救済を受けると決めて球を拾い上げた後、ドロップする前にプレーの線上にあるバンカーの中の足跡をならした場合、罰はない。

82. ストロークプレーのスコアカードに関して、正しいものはどれか。

- ① 18ホール合計スコアの計算が正しいことについては委員会に責任がある。
- ② プレーヤーの署名欄にマーカが署名したスコアカードは無効である。
- ③ 委員会が発行したスコアカード以外のものを使用してスコアを提出することはできない。
- ④ あるホールのスコアを真実のスコアより少なく記入したスコアカードを提出した場合、常に失格となる。

83. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① プレーヤーの球が木の上であり、アンプレヤブルの救済を受けることに決めた。ラテラル救済の救済エリアがパッティンググリーン上にかかる場合、球をパッティンググリーン上にプレースすることができる。
- ② 前の組によってレーキがパッティンググリーンとバンカーの間に置かれていた。プレーヤーはそのレーキが、パットを強く打ちすぎた時に球を止める可能性があると考えその場所にレーキを残しておくことにした。プレーヤーがパットしたところ、球がそのレーキによって止められた場合、プレーヤーは一般の罰を受ける。
- ③ プレーヤーの球がカート道路の上に止まった。プレーヤーはその球をカート道路からプレーしていた場合に使用していたと思われるクラブを使って完全な救済のニヤレストポイントを推定し、その場所を基点とした救済エリアに球をドロップしてその球は救済エリアに止まった。プレーヤーがその球にストロークを行ったところ、ストローク中にクラブがカート道路に当たった場合、プレーヤーは常に一般の罰を受ける。
- ④ マッチプレーで正しい処置に確信がなく 2 つの球でそのホールを終えた場合、相手はその処置に反対しておらず、プレーヤーと相手はその状況を委員会に問い合わせた場合、元の球のスコアがカウントされる。

84. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① プレーヤーのクラブがストローク中に偶然に 2 回以上球に当たった場合は 2 回のストロークとしてカウントする。
- ② 球を正しく打つとき、クラブヘッドが球と接触する必要はない。
- ③ クラブをアンカリングすることを禁止している規定の「前腕」には手首は含まれない。
- ④ 服の一部にクラブを持った手が触れた状態でストロークを行うことは認められない。

85. 次のうち空欄に入る文言で、正しいものはどれか。

「委員会が裁定を行うときに事実問題を決定する場合、ビデオの証拠の使用は( )基準によって制限される。」

- ① 分かっている、または事実上確実の
- ② 高解析度テレビ使用時の映像の
- ③ 裸眼
- ④ 肉眼

86. 次のうち、キャディーができないことはどれか。

- ① パッティンググリーン上でプレーヤーのプレーの線上にある砂を取り除く。
- ② ストロークを行う前にアドバイスをする。
- ③ プレーヤーの球が止まった後に悪化した状態をプレーヤーの承認を得て復元する。
- ④ 異常なコース状態から救済を受けることを決定する。

87. 次のうちゴルフ規則で定義として定められているものはいくつあるか。

- ・レフェリー
- ・オブザーバー
- ・競技委員
- ・キャディー

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

88. アンプレヤブルの処置で後方線上の救済を受ける場合、正しいものはどれか。

- ① 基点は完全な救済のニヤレストポイントである。
- ② 救済エリアはどのコースエリアでも良い。
- ③ 基点から 1 クラブレングス以内にコースエリアが複数ある場合、ドロップした球はその球の元の位置と同じコースエリアの救済エリアに止まらなければならない。
- ④ 基点から 1 クラブレングス以内にコースエリアが複数ある場合、ドロップした球はその球を救済エリアにドロップしたときに最初に触れたのと同じコースエリアの救済エリアに止まる必要はない。

89. 重大な違反があったかどうかを決めるための比較をする場合、考慮にいれない要素はどれか。

- ① そのストロークの難易度
- ② そのホールの難易度
- ③ ストロークに影響を及ぼす状態
- ④ 球からホールまでの距離

90. 球がジェネラルエリアにあり、異常なコース状態からの救済を受ける場合、次のうち正しいものはどれか。

- ① 球を取り替えることはできない。
- ② 球をふくことはできない。
- ③ 救済エリアの基点は完全な救済のニヤレストポイントである。
- ④ 救済エリアはジェネラルエリアに制限されない。

91. 臨時の動かさない障害物(以下 TIO という)についてのローカルルールで正しいものはどれか。

- ① TIO には、TIO に接続されその TIO を支えているガイワイヤを含まない。
- ② TIO の最も外側の縁はその球がその TIO の下にあるかどうかを決めるときに使われる。
- ③ 球がコース上にあっても TIO がアウトオブバウンズに位置していれば救済は認められない。
- ④ TIO の障害は物理的な障害と介在の障害の両方がなければ救済は認められない。

92. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① アウトオブバウンズの境界を杭で定める場合、一般に杭と杭の間隔は 30 歩未満の距離とすべきである。
- ② コースには必ず境界がなければならない。
- ③ ティーイングエリアからプレーされた球だけに適用するアウトオブバウンズを定めることはできるが、ローカルルールに明記しなければならない。
- ④ ホールとホール間にアウトオブバウンズの境界を定めることは認められないローカルルールの 1 つである。

93. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 競技の条件でマッチを延長することを規定できる。
- ② プレーヤーのラウンドのスコアがチームスコアの一部としてのみカウントされるストロークプレーでは、委員会は同じ組でプレーしているチームメンバーがパートナー同士ではない場合でも互いにアドバイスを与えることを認めるローカルルールを採用することができる。
- ③ 行動規範に基づき、プレー禁止区域への立ち入りを禁止することはできない。
- ④ パッティンググリーン上の動物の蹄の跡の損傷は、ローカルルールを制定することによって修理することができる。

94. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① プレー禁止区域としている環境保護区域が侵入禁止とされているにもかかわらず、その中にプレーヤーが侵入した場合、委員会はプレーヤーに罰を課すことを行動規範の中で規定することができる。
- ② プレー禁止区域をマーキングするための杭は青杭の上部に赤の印をつけることを規則は推奨している。
- ③ プレー禁止区域をバンカー内に設定することはできない。
- ④ 委員会は「花壇」であることを理由にその区域をプレー禁止区域とすることはできない。

95. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① レフェリーによる事実の裁定や規則の適用方法にプレーヤーは従う義務はない。
- ② プレーヤーはレフェリーの裁定を委員会に上訴する権利がある。
- ③ レフェリーは裁定を行う前に委員会の援助を求める義務はない。
- ④ レフェリーは裁定を再検討のために委員会に照会できない。

96. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ストロークプレーの A と B の 2 人のプレーオフで、A が規則違反で失格となった場合でも、B はそのプレーオフのホールをホールアウトしなければならない。
- ② マッチプレーでプレーヤーが失格となった場合、そのプレーヤーがその競技の予選でメダリストとなっていた場合はその賞を受け取る権利がある。
- ③ マッチプレーであるプレーヤーが最初のマッチに棄権した場合、委員会が競技の条件でそうした状況に対処する方法を明記していなかった場合、委員会はそのプレーヤーの相手を不戦勝としなければならない。
- ④ ストロークプレーで、最初のラウンドの前にあるプレーヤーが棄権した場合、補欠を繰り上げることはできない。

97. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① コースが公道に隣接している場合、委員会はそうした区域をアウトオブバウンズとしてマーキングしなければならない。
- ② 2 つのティーマーカーの幅は 5~7 歩離して設置するべきである。
- ③ ホールを設置するときは、ホールの周辺 90~120cm が比較的平らな区域に設置するべきである。
- ④ ドロップエリアの形状は円形でなければならない。

98. 次のうち、正しいものはどれか？

- ① 委員会が競技会に参加資格のないプレーヤーの参加を認めた場合、運営上の誤りとなる。
- ② 2人のプレーヤーで行うストロークプレーのプレーオフで、どちらか一方が失格となった場合、もう一方のプレーヤーは優勝者となるためにプレーオフホールを終えなければならない。
- ③ 委員会による運営上の誤りが理由の規則に関する問題が競技終了後に委員会に持ち込まれた場合、委員会は誤りを訂正することはできない。
- ④ アマチュアゴルファーはゴルフのラウンドをプレーしている間に達成したホールインワンについて、賞金は受け取ることができないが、賞品は限度額なしに受け取ることができる。

99. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① プレーヤーがレフェリーの指示をやむを得ない理由により誤解した結果として、球を拾い上げることが認められないのに自分の球を拾い上げた場合、プレーヤーは罰を受ける。
- ② レフェリーが規則について一般的なガイダンスの範囲内で間違っただけの情報を与えた場合、プレーヤーは罰を免除される。
- ③ レフェリーが不適合クラブを適合と裁定した場合、プレーヤーがそのクラブを使うことについての罰は免除される。
- ④ レフェリーがローカルルールが施行されているかどうかについて間違っただけの情報を与えた場合、プレーヤーがその間違っただけの情報に基づき行動した場合、罰を免除することはできない。

100. プレーヤーはティーショットがペナルティーエリアの中で紛失したものと決めつけ(事実上確実という証拠はなかった)、ペナルティーエリアからの罰ありの救済を受けて別の球をそのペナルティーエリアの近くにドロップしてプレーした。このケースを裁定する場合、罰の根拠となる規則の組み合わせとして正しいものはどれか。

- ① 規則 14.3 と規則 16.1
- ② 規則 16.1 と規則 24.7
- ③ 規則 14.7 と規則 18.1
- ④ 規則 16.1 と規則 18.1



### 第3回 JGA ルールテスト

#### 練習問題 C 正解

1	①	21	④	41	①	61	③	81	③
2	①	22	④	42	①	62	③	82	①
3	①	23	③	43	②	63	③	83	④
4	①	24	②	44	②	64	②	84	②
5	①	25	①	45	③	65	③	85	④
6	④	26	③	46	④	66	③	86	④
7	②	27	②	47	②	67	③	87	②
8	①	28	①	48	④	68	①	88	②
9	③	29	②	49	②	69	②	89	②
10	②	30	③	50	①	70	④	90	③
11	①	31	③	51	①	71	②	91	②
12	②	32	①	52	①	72	③	92	①
13	③	33	②	53	②	73	②	93	②
14	③	34	③	54	②	74	②	94	①
15	①	35	④	55	③	75	②	95	③
16	③	36	②	56	③	76	④	96	②
17	②	37	③	57	④	77	③	97	②
18	③	38	②	58	①	78	③	98	①
19	③	39	①	59	③	79	④	99	③
20	③	40	①	60	③	80	②	100	③